

(5)吐いた



ワンポイントアドバイス



吐く状態とは

胃、食道、腸の運動が妨げられている場合、あるいは頭の中に異常がある場合に起こります。

寝ているときは、顔を横向きに

吐いたもので窒息しないように、寝ているときは、顔を横向きにしてください。

水分を補給し、様子を見ましょう

少しくらいのおう吐であれば、少量の湯冷ましや小児用イオン飲料などを少量ずつこまめにあげてみましょう。おう吐がひどいときは無理にあげず、少し落ち着いたら水分を補給して、様子を見ましょう。

消化が悪いものは避けましょう

落ち着いてきても、みかんやオレンジなどの柑橘類、牛乳、乳製品などの消化かんきつが悪い食べ物や飲み物はあげないようにしましょう。

症状に応じた対処法

